

インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年3月6日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講5
「主の業を担う器」
ネヘミヤ記2章12-20節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネハミヤ記2章12-20節

12 あるとき、私は夜中に起きた。

ほかに数人の者も

いっしょにいた。

しかし、私の神が、

私の心を動かして

エルサレムのためにさせようと

されることを、

私はだれにも告げなかった。

また、私が乗った獣のほかには、

一頭の獣も連れて行かなかった。

13 私は夜、

谷の門を通って竜の泉のほう、
糞の門のところに出て行き、
エルサレムの城壁を調べると、
それはくずされ、
その門は火で焼け尽きていた。

14 さらに、

私は泉の門と王の池のほうへ
進んで行ったが、
私の乗っている獣の通れる所が
なかった。

15 そこで、

私は夜のうちに
流れを上って行き、
城壁を調べた。

そしてまた引き返し、
谷の門を通過して戻って来た。

16 代表者たちは、
私がどこへ行っていたか、
また私が何をしていたか
知らなかった。
それに、私は、
それをユダヤ人にも、
祭司たちにも、
おもだった人たちにも、
代表者たちにも、
その他工事をする者たちにも、
まだ知らせていなかった。

17 それから、私は彼らに言った。

「あなたがたは、
私たちの当面している困難を
見ている。

エルサレムは廃墟となり、
その門は

火で焼き払われたままである。

さあ、

エルサレムの城壁を建て直し、
もうこれ以上

そしりを受けないように
しよう。」

18 そして、

私に恵みを下さった

私の神の御手のことと、

また、王が私に話したことばを、

彼らに告げた。

そこで彼らは、

「さあ、再建に取りかかろう」

と言って、

この良い仕事に着手した。

19 ところが、

ホロン人サヌバラテと、
アモン人で役人のトビヤ、
および、アラブ人ゲシエムは、
これを聞いて、
私たちをあざけり、
私たちをさげすんで言った。

「おまえたちのしている
このことは何だ。
おまえたちは王に反逆しようと
しているのか。」

20 そこで、
私は彼らにことばを返して
言った。
「天の神ご自身が、
私たちを成功させてくださる。
だから、
そのしもべである私たちは、
再建に取りかかっているのだ。
しかし、
あなたがたには
エルサレムの中に何の分け前も、
権利も、記念もないのだ。」

説教

ネヘミヤ記連講5

「主の業を担う器」

ネヘミヤ記2章12節-20節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「そこで、
私は彼らにことばを返して
言った。

『天の神ご自身が、
私たちを成功させてくださる。
だから、
そのしもべである私たちは、
再建に取りかかって
いるのだ。』」

(ネヘミヤ2：20)

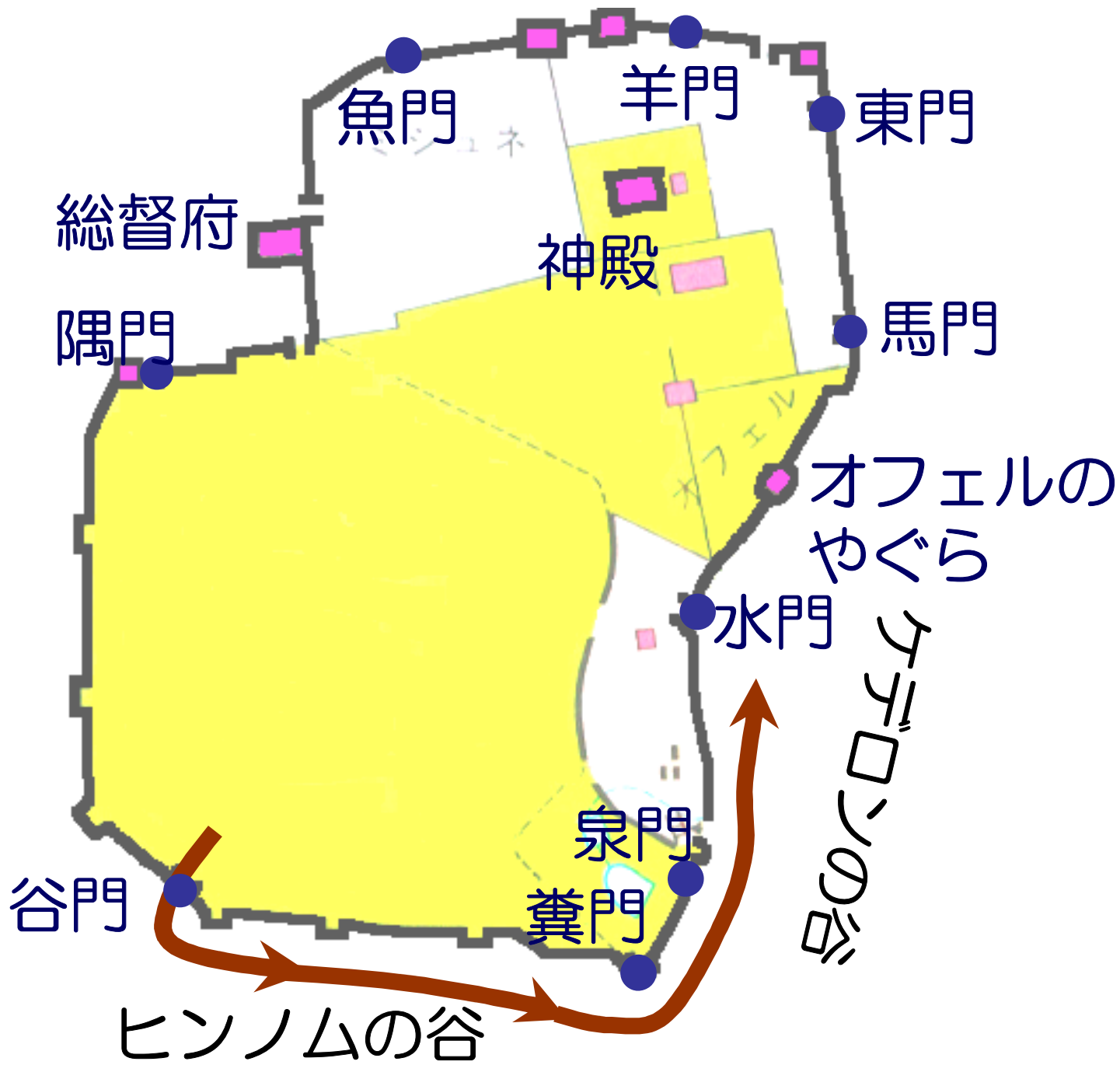
A. 神の感動が伝わる ＜復習として＞

1. ネヘミヤの夜間偵察 (12-16節) (エルサレム地図参照)

その目的：

- ①現場確認のため；
- ②妨害を避けるため；
- ③一挙にプロジェクトを開始するため

ネヘミヤの夜間調査



2. 効果的なプレゼンと 民の積極的応答 (17-18節)

ネヘミヤの演説：

- ①現状を認識せよ；
- ②城壁再建に立ち上がろう；
- ③神の御手が動いている

B. 反対者の存在（19節）

1. 神に逆らう勢力は
いつの時代にも存在する

2. サヌバラテ

- ①出身（ユダ周辺地図参照）：
ベテ・ホロン(サマリヤに近い)
- ②サマリヤ州総督：
サマリヤは、
アッシリヤによる捕囚後、
民族（宗教）混淆が
なされたところ
（2列王17：24－37）

【ネヘミヤ時代のユダ①】

サマリヤ

ベテ・ホロン

アモン

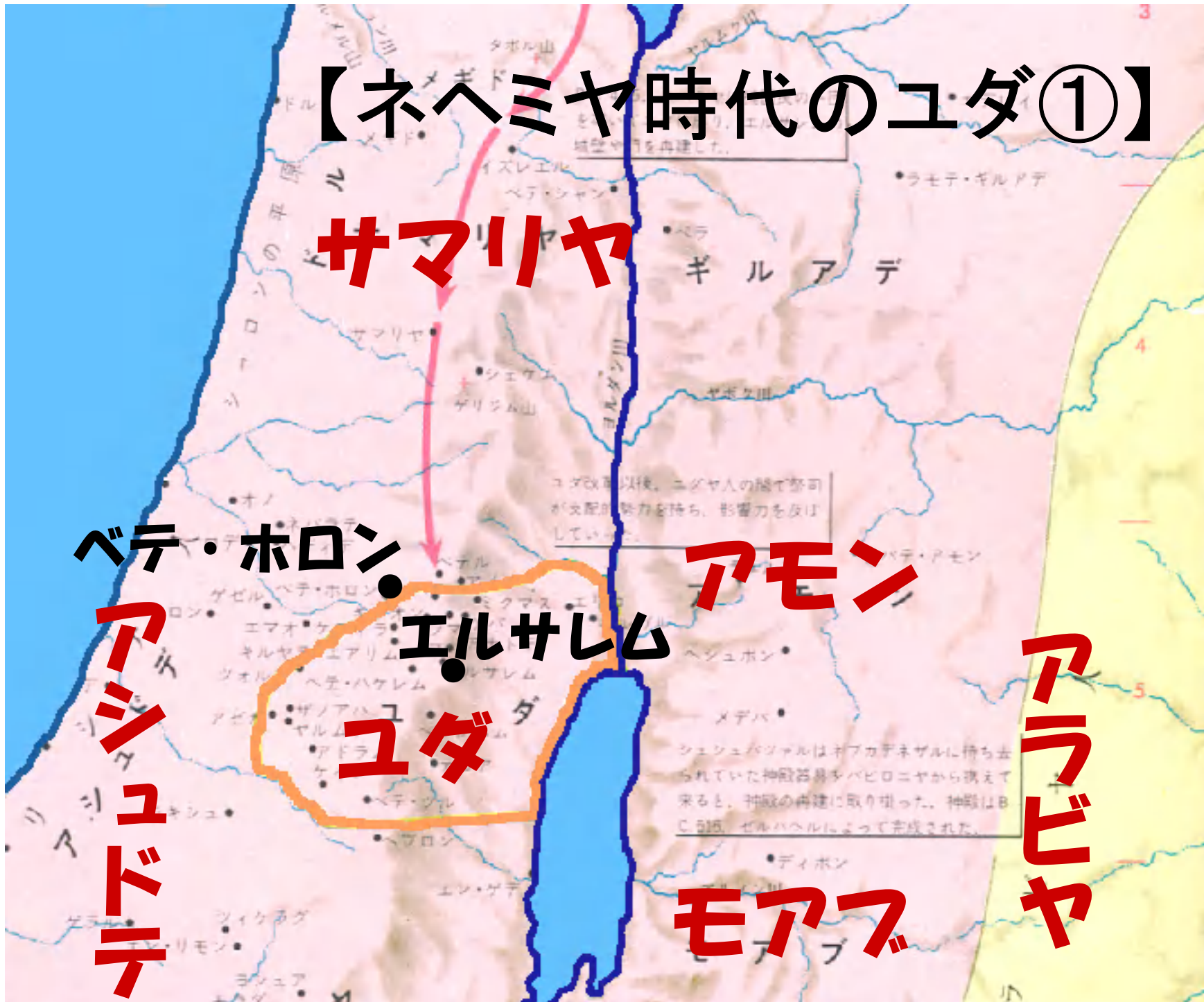
エルサレム

ユダ

アッシリヤ

アラビヤ

モアブ



③一貫してネへニヤに対抗：
(2：10、2：19、4：1、
4：7-8、6：1-2、
6：6、13：28)

3. トビヤとゲシエム

- ・ トビヤ：アモン人の解放奴隷。

ユダヤ指導者と

背後で繋がる

(6：17－19)

- ・ ゲシエム：アラビア人の指導者

4. 反対の理由

- ①エルサレム復興は
周辺地域への脅威
- ②ネヘミヤとの対抗意識
- ③「協力申し出」拒否への反動
(エズラ4：2)

C. ネヘミヤの返答（20節）

1. 神ご自身が成功の鍵

2. 神の僕は神の業に専念する

3. 世的な要素と線を引く

（イザヤ52：11、
2テモテ2：21）

終わりに：

主に仕えるものによって
教会は建設される

・ 成功させてくださる主を
信じよう

・ 主に仕えるものが
教会を建設する